

中秋の名月から、月を考える

昨日は、中秋の名月にあたり、お月見をした家庭もあるのではないのでしょうか。幸い昨日はよく晴れていて、きれいな月（満月）が見られたようです。

私も昨日、時間を追って撮影してみました。5、6年生は何が起きているかがきちんと説明できるはずです。4年生はこれから学習することになります。

さて、月にはいろいろな呼び名があります。例えば満月、半月、三日月、新月、上弦の月、下弦の月などは教科書にも記されています。



新月	地球からは全く見えない	0
織月	右側だけ細く光る月	1
三日月	夕方の西の空に見える、弓や剣に見える月	2
上弦の月	西に沈むときに、弓の弦（糸）が上に来るような月	6
十三夜	満月の次にきれいと言われ、縁起のいい月	12
待宵月	満月を明日にひかえ、楽しみに待つ月	13
満月	最も円の形に近くなる月	14
望月	満月のこと 歴史上でこれを使って短歌を作った人がいます	14
十五夜	満月のこと 新月から15日目だから	14
十六夜	「いざよい」と読みます 満月よりちょっとためらうように出る月	15
立待月	立って待っている間に、東から出てくる月	16
居待月	月が出てくるのがおそくなり、座って待っていると出てくる月	17
寝待月	寝て待っていると出てくる月	18
更待月	夜がふけてから出てくる月	19
下弦の月	西に沈むときに、弓の弦（糸）が下に来るような月	22
二十三夜月	月を待って人が集まり、お供えをしたり拝んだりする月「さんやまち？」	22
有明月	夜明けごろに東の空からのぼってくる月	25
暁月	「あかつき」と読みます 明け方の月	25
ブルームーン	1ヶ月に2回満月の日があるときの2回目の満月のこと	
スーパームーン	月が1年の中で一番大きく見える日の月	

日本では昔から、「月」を生活の中に取り入れ、大切にしてきました。月によって時刻や月日を表したりしていたことが、現在に名残があるものがあります（商品の名前・苗字・列車の名前・地名）。月光仮面やセーラームーンがはやるのも、日本人の心のどこかに「月」があるのかもしれませんが。そう考えると、なかなかおもしろいものです。さて、今日はスーパームーンです。

月, 星, 太陽を かんさつ するときは, 同じ場所から 同じ方向を見るのが 大切です。

(A)

6:30	7:30	8:00	8:40	9:10
------	------	------	------	------

東 ← 南 →

カメラを
ここで南向き
に動かして
ました。

(B) ↙

(B)

9:30	10:10	11:00	0:00	0:40
------	-------	-------	------	------

← 東 南 →

カメラを
ここで西向き
に動かして
ました。

(C) ↘

(C)

0:50	1:20	2:20	3:40	3:40
------	------	------	------	------

南 ← 西 →

ちと西の空を
見てみると...

(D) ↙

★ 5, 6年生は, 4年生の学習をふりかえりながら 見てみましょう。